

対話でつなく授業 ～個々を認め合うチーム学習～

岩瀬 竜弥



指導員訪問④ 3年 国語科「本をしょうかいしよう」 神谷 絢香 教諭



読書をするのが好きと答える3年生。「楽しい気持ちに」「いろいろなことを知る」とよさを十分に感じています。しかし、令和4年度の学力・学習状況踏査の児童質問紙では、「読書が好き」「授業以外に普段1日10分以上読書する」では、全国平均を大きく下回っていました。私は不思議に感じていました。

今回の授業では、相手意識をもった本の紹介を通じて、子供が新たな読書の視点を広げる姿があったかどうかです。ここに解決するヒントがありそうです。

本時では、まず担任が他教師から本を紹介してもらう様子を観察。「ミステリー小説」「野球」が好きをヒントに本を選択しました。ここでは紹介の仕方だけでなく、相手にどう質問すべきかも



見せました。そして、心内対話からチーム学習へ。4人のチームで決まった相手に向けて選んだ本を紹介、質問を繰り返しながらチームで視点を共有します。「似てる本知ってるよ」「同じ人が書いた

〇〇があるけど・・・」と対話が広がる場面も。

クラス対話では、1冊を取り上げ、「絵のおもしろさ」「ストーリーのワクワク感」から読書意欲を引き出しました。そして●T26で立ち止まり、「場面」を取り上げました。



協議会では、導入やチーム学習が効果的であったかを中心に意見交換。指導員からチーム学習のあり方、読書で振り返り、学校の図書室やリブラの活用など教えていただきました。

私が身震いした瞬間は、C27の「字が多くても面白い本はある」の発言。この子は小説で「どんでん返し」のおもしろさを伝授。まさにゆさぶりポイント。**新たな視点をもった子が今後、本物の読書好きに！**



<授業記録より一部抜粋、編集>

- (チーム学習のあとのクラス対話から)
- T1: 気になって新しい質問をしている子もいましたが、今日は特別な相手から紹介してもらったよね。どうだった?
 - <略>-
 - C6: 焼き魚がどうなったのか知りたくなった。
 - T7: だれから紹介してもらったお話?
 - C8: C9さんの『やきぎかなののろい』
 - C10 (つぶやき) 怖い～、あ～知ってる!
 - <略>-
 - T19: だれのが聞きたい?
 - C20 (つぶやき) C9さん!
 - C21 (C9さんが本の紹介) →拍手が
 - <略>-
 - C24: 聞いてもらいたい人がいる。C25さん。
 - T26: 好きなページを教えてくれたから、すぐに読みたくなっちゃったC24さんの希望でC25さん。
 - C27: 私(C25)がC24さんに紹介する本は、『ながーい5分 みじかい5分』というお話です。好きな場面は〇〇〇です。私はC24さんが面白い本が好きで、字が多いのがきらいと言ったので、これにしました。だけど、字が多くても面白い本はあると思うので、読んでみてください。